

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公表番号】特表 2001-511200(P2001-511200A)
【公表日】平成 13 年 8 月 7 日 (2001.8.7)
【出願番号】特願平 10-532506
【国際特許分類第 7 版】

C 0 9 K 11/06

C 0 7 D 487/04

C 0 9 B 57/12

【F I】

C 0 9 K 11/06

C 0 7 D 487/04 1 3 8

C 0 9 B 57/12

C 0 9 K 11/06 6 0 1

C 0 9 K 11/06 6 5 0

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 1 月 17 日 (2005.1.17)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年1月17日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第532506号

2. 補正をする者

名 称 チバ スペシャルティ ケミカルズ ホールディング
 インコーポレーテッド

3. 代 理 人

住 所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-22-12 SVAX TS ビル
氏 名 弁理士 (7866) 津 国 肇
 電話 (3502) 7212



4. 補正対象書類名 明細書及び請求の範囲

5. 補正対象項目名 明細書及び請求の範囲

6. 補正の内容



方 式 査 査



I. 特許請求の範囲の欄

別紙のとおりに補正する。

II. 発明の詳細な説明の欄

- (1) 明細書12頁9行、同26頁14行、同46頁20行及び同71頁下から2行の「及び」を、それぞれ「又は」と訂正する。
- (2) 同20頁10行の「100g」を削除する。
- (3) 同46頁5行及び同71頁13行の「又は」を、それぞれ「あるいは」と訂正する。
- (4) 同83頁下から4～3行の「(XXXXIII)、(XXXXIV)、(XXXXV)、(XXXXVI)及び(XXXVII)」を、「(XXXIII)、(XXXIV)、(XXXV)、(XXXVI)及び(XXXVII)」と訂正する。
- (5) 同91頁5行の「高浮彫構造」を、「高レリーフ構造」と訂正する。
- (6) 同95頁末尾行及び同96頁17行の「高浮彫画像」を、それぞれ「高レリーフ画像」と訂正する。
- (7) 同96頁10行の「顔料前駆体；」の後に「並びに／あるいは」を挿入する。
- (8) 同100頁下から5行の「例C2」を「例E2」と訂正する。

(別紙)

請求の範囲

1. ベンゾ[4, 5]イミダゾ[2, 1-a]イソインドール-11-オン類よりなる群から選ばれる少なくとも1種のホスト発色団と、少なくとも1種のゲスト発色団と、所望であれば重合体Cとを含み、ホスト発色団の発光スペクトルがゲスト発色団の吸収スペクトルと重なる固体配合物であって、

(a1) ホスト発色団は、重合体骨格A(「ホスト重合体」)に共有結合し、及び/又は

(a2) ゲスト発色団は、重合体骨格B(「ゲスト重合体」)に共有結合していて、かつホスト発色団とゲスト発色団との間の重量比が、好ましくは50:50~9999:1である固体配合物。

2. (a1) ホスト発色団によって形成されるマトリックス中に、ゲスト発色団が、均質に分布し、好ましくは溶解し、かつ均質に分布しているか；又は

(a2) ゲスト重合体によって形成されるマトリックス中に、ホスト発色団が、均質に分布し、好ましくは溶解し、かつ均質に分布しているか；あるいは、

(b) ホスト重合体及びゲスト重合体が、好ましくは均質に混合されている、請求項1記載の固体配合物。

3. ホスト重合体及びゲスト発色団、又はゲスト重合体及びホスト発色団、あるいはホスト重合体及びゲスト重合体を、好ましくは溶媒の存在下で混合し、混合した後に溶媒を除去することを特徴とする、請求項1記載の固体配合物の製造法。

4. ホスト発色団の単量体もしくはそのプレポリマーを、溶解したゲスト発色団の存在下で、又はゲスト発色団の単量体もしくはそのプレポリマーを、溶解したホスト発色団の存在下で、場合によっては非蛍光性単量体とともに重合させることを特徴とする、請求項1又は2記載の固体配合物の製造法。

5. (1) 担体材料、(2) 少なくとも1個の表面に、

(i) 請求項1記載の配合物、又は

(ii) 請求項1記載の固体配合物の均質な分布中に基材としての重合体を、単独でか、もしくは平均粒径50nm~1,000μmを有する請求項1記載の固体配合物の粒子とを混合状態において含む混合物、又はその両方、あるいは

(iii) (c 1) 少なくとも1個の光重合可能な基、又は少なくとも2個の光反応性の官能基を有する、光重合可能なホスト発色団もしくはそのプレポリマー；場合により、ホスト発色団と共重合可能な非蛍光性単量体又はプレポリマー；及び本明細書に定義したようなゲスト発色団、又はそれに溶解した顔料前駆体；並びに／あるいは

(c 2) 少なくとも1個の光重合可能な基、又は少なくとも2個の光反応性の官能基を有する、重合可能なゲスト発色団もしくはそのプレポリマー；場合により、ゲスト発色団と共重合可能な非蛍光性単量体又はプレポリマー；及びそれに溶解したホスト発色団、ここで、該ホスト発色団は、ベンゾ[4, 5]イミダゾ[2, 1-a]イソインドール-11-オン類よりなる群より選ばれ、かつホスト発色団の発光スペクトルは、ゲスト発色団の吸光スペクトルと重なるから得られる重合体

を含む配合物。

6. (ii) 及び (iii) の重合体が、重合性ホトレジスト材料の高レリーフ画像である、請求項5記載の配合物。

7. 請求項1、2、5 及び6 のいずれか1項記載の配合物を含む蛍光性材料。